

## 予防歯科医療の必要性

中央区・よぼうのはいしゃさん 今村 虎太郎（歯科医師）

### 患者目線

誰も歯を削ったり抜いたりしたくないのに、歯医者に治療をしに行く。そして、歯医者に対しネガティブなイメージを持ち（痛い、怖い）、歯医者から足が遠のく。

→予防歯科を実践することにより、痛い治療が減り、歯科医院のイメージを良くすることができる。

### ドクター目線

歯科診療所数は増えているが歯科診療医療費（保険診療費）は横ばいが続いているため、保険治療メインの従来の歯科医院経営は持続が困難である。また、今後の人口減少により治療の絶対数も減少する。

→予防主体にシフトすることですべての人（虫歯がない人も）が診療対象となり、増患及び安定収入を得ることが出来る。

### 予防歯科医療を推進するためには

患者、ドクターの意識改革が必要。

「痛くなってから行くところ」→「何もなかったことを確認しに行くところ」